

東京都北区中里貝塚 保存活用計画策定委員会 第2回会議 議事要旨

日時：平成30年3月9日（金）15:00～16:30

場所：北区飛鳥山博物館 講堂

【出席者】

<委員>

阿部 芳郎 委員長	石川 日出志 副委員長	
吉村 晶子 委員	山口 宗彦 委員	
山田 和夫 委員	堀江 正郎 委員	佐々木 富美子 委員

<区関係理事者>

雲出 広報課長	寺田 都市計画課長
---------	-----------

<事務局>

山本 飛鳥山博物館長	鈴木 事業係長	
中島 学芸員	牛山 学芸員	安武 学芸員

【次第】

※14:00～14:45 現地視察（上中里2丁目広場・中里貝塚史跡広場ほか）

1. 開会
2. 議題
 - （1）史跡の現状と課題
 - （2）史跡の構成要素
3. 今後のスケジュール
4. 閉会

【配付資料一覧】

1. 現地視察コース図
2. 東京都北区中里貝塚保存活用計画策定委員会 第2回会議次第
3. 委員会席次
4. 議事関係
 - 資料1 史跡の現状と課題
 - 資料2 史跡の構成要素
 - 資料3 今後のスケジュール
 - 参考資料 史跡及び文化財関連の参考データ

【傍聴人】

傍聴人 1 名

【議事要旨】

※14:00～14:45 現地視察（上中里2丁目広場・中里貝塚史跡広場ほか）

1. 開会

2. 議題

<議題（1）史跡の現状と課題>

○事務局 ー現地視察を踏まえ、資料説明ー

○委員

上中里2丁目広場の大きな木は、根による地下遺構への影響はないのか？

○事務局

盛土をして保護しているので、大丈夫だと思う。

○委員長

根の張り具合を調べたほうが良いかもしれない。

○委員

貝層の展示を検討する際には、地盤調査等のデータが必要なので、現時点でどこの部署に、どのようなデータがあるか、整理しておくと思う。

○委員長

文化財行政の人員体制について、現在のままでは難しいと思う。相応の体制を作る必要がある。

○委員

保存管理の課題の中に、「区内の埋蔵文化財調査や博物館活動の現状維持と拡充」を追加してはどうか。

○委員

課題整理をして、その課題に対する取り組みの基本方針を、保存活用計画の中で示す必要がある。

○委員

現地で、貝塚を見ることができると良い。対外的な史跡のPRも合わせて検討してほしい。

○委員

史跡の認知度が低いので、カラーイラストの説明板や駅からの誘導標識などを充実させてほしい。

○委員

「誰が活用するのか」という点のある程度定めて、その対象者にとって「何が必要なのか」を考えていくと良いと思う。

○委員

「歴史の勉強」では、総論的な大きな部分から入る学び方もあるが、自分が住んでいる、身近なところから歴史を紐解いていくような学び方もあると思う。

○委員

住宅密集地の中の史跡という状況を踏まえると、史跡広場はあれだけの広さがあるので、避難場所としても確保してほしい。

○区

滝野川地域は大きな公園が少ないので、史跡広場の空間は貴重な場所となっている。

○委員

東日本大震災後、陸前高田市で「中沢浜貝塚」の史跡公園が緊急時の避難場所として指定されている。

<議題（2）史跡の構成要素>

○事務局 一資料説明一

○委員

史跡の構成要素や周辺の諸要素に関しては、地図と合わせて整理していくこととなる。また、指定地内や史跡周辺の現状変更の取扱い基準等を定めていく中で「中里貝塚ではあるが、まだ指定されていない部分」の取扱いが要となってくる。

○委員

陸前高田市の例のように、指定地内は保存を確実にいき、活用の場としては指定地外を利用する、というような位置づけを整理すると良い。

○委員長

指定地内には原則として新しい建物は設置できないので、史跡として保存する範囲をどう設定するかは、重要な検討事項となる。

○委員

史跡活用においては、地元の方々が主役なので、地元の方々の意向を十分に反映させた形で、取扱い方針について検討する必要がある。

3. 今後のスケジュール

※事務局から、次回委員会の日程と次年度のおおまかなスケジュールについて説明。

4. 閉会

以上